

HAKUBA

議会だより

153号

6月定例会号

令和7年7月9日発行



photo:からこまぎの様子

大いに賑わう塩の道まつり

- 新たな議会体制スタート 2~5
- 常任委員会 6~7
- 議決結果一覧 8
- 村政を問う 一般質問 9
- トピックス 15
- 夢・私たちに。「わたしのひとこと」 16



体制スタート 未来を考えます



(上左から)永井勝則委員、内川史朗委員、伊藤まゆみ委員
(下左から)酒井 洋委員、切久保達也委員長、太田伸子委員

総務社会委員会

委員長 切久保 達也

総務社会委員会とは

総務課、税務課、住民課、健康福祉課、教育委員会、議会事務局、会計室、選挙管理委員会、監査委員、他の委員会に属さない事項の審議を行います。

議長あいさつ

議長に選任いただきましたことは、大変光栄に存じますとともに、責任の重大さを痛感しているところでございます。

4月の村議会選挙では、白馬村初めての定員割れとなり無投票となりました。村民の皆様からは、議会に対して厳しいご評価をいただくことと議員一同覚悟して、任期満了まで努めなければなりません。新人が6名となり、新しい視点も期待できますが、まずは、村の置かれている状況をしっかりと把握し行政とともに、白馬村が前進できますよう精進してまいります。

議会の円滑な運営に努めると同時に、村民の皆様の負託にこたえ続けられる議会でありますよう努力してまいります。

さらなるご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

太田 伸子



新たな議会 村民と白馬の

産業経済委員会

委員長 丸山 和之

産業経済委員会とは
観光課、農政課、建設課、上下水道課、農業委員会に関する事項の審議を行います。



初めての定員割れとなった村議会議員選挙



(上左から)太田 学委員、鈴木 均委員、松本喜美人委員
(下左から)丸山和之委員長、丸山宏充委員

副議長あいさつ

この度、副議長に選任されました。しっかりと役割を務めるよう努力してまいります。

今回の選挙のような形になってしまったことでは、有権者の目は厳しいものになると感じています。議長をしっかりとサポートし、車の両輪の一部として、村が良い方向へ前進できるよう頑張ります。皆様のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

丸山 和之



総務社会委員会

総務社会委員長あいさつ

切久保 達也



このたび2期目の議席をいただき、引き続き白馬村の未来のために尽力してまいります。さまざまな声を丁寧に聞き、子どもたちや次の世代が誇れる村づくりを目指します。環境、観光、教育、移住など多様な分野にわたり、対話と行動を大切にしながら、地域の課題解決に全力で取り組んでまいります。

酒井 洋 副委員長

社会基盤整備は地域の未来を築く重要な取組です。

単にモノを作ることに以上で公共施設の整備と維持保全は、住民の生活をより快適で豊かにし、地域の活性化を促進する基盤となります。

公共事業の施工管理や設計・計画策定に関わってきた技術者の一人として、地域の声を聴きながら、安心・安全の社会基盤を未来へつなげるよう全力を尽くします。

さらに地域の水で地域の「エネルギーを補う」ための小水力発電施設の拡充に取り組みます。



永井 勝則

1960年京都府綾部市生まれ、AB型、趣味はギターとゴルフ、YouTube投稿です。パソコンやインターネット関連の翻訳本を出していた関係から、特にシニア向けのスマホ教室の充実や、小中高生向けプログラミング教室の開催などに尽力したいと考えています。その他、防災や景観の保全など、私の思いを書いた選挙時のビラが、使わないまま日の目を見ずに多数余っています。希望される方はぜひご連絡ください。



内川 史朗

「災害をなくし、村民の生活を守りたい」という思いが、村議会という場に私を立たせることになりました。私は、平成7年に発生した豪雨災害の時に消防副団長を務めましたが、全く予想もしていなかった災害に厳しい状況を味わいました。その経験から、昨今起こっている大規模な自然災害から村民の生活を守るため、「防災・減災」をはじめとする危機管理体制の強化に注力し、村民が安心して暮らせる白馬村を目指して取り組みます。



伊藤 まゆみ

村は存続できるのか?との強い危機感

私は広域の焼却施設建設に声を上げて反対。皮膚呼吸する蛙が多いこのきれいな空気は、子どもたちが自慢にできるものだ。拡散されない煙で、雪が降らなくなるかもしれない。しかし、今、それ以上の危機感がある。不動産を売却し離村している住民が後を絶たない。村の相変わらずの補助金頼みの箱もの行政では必ず行き詰まる。知恵を出し人材育成でしか生き残れない、そんな強い思いから立候補。



議会広報特別委員会とは

議会の役割や議会の動き・審議内容を、住民に分かりやすく伝える役割です。委員構成は、副議長・各常任委員会から3名以上ずつ選出します。

メンバー(7名)

太田 学(長)、永井勝則(副)、丸山宏充、鈴木 均、酒井 洋、内川史朗、丸山和之

産業経済委員会

産業経済委員長あいさつ

丸山 和之



この度、産業経済委員長を拝命いたしました。しばらくは5人体制となりますが、委員全員でしっかりと慎重審議に努めてまいります。

現在の物価、資材の高騰や不動産価格の上昇などによる様々な問題が出てきていますが、基幹産業である観光や農業、インフラなどの課題に取り組み、調査研究をし、適切な政策提言ができるように委員全員で努力していきます。

丸山 宏充 副委員長



令和7年6月定例会を終え、議員1年目として初めての議会で貴重な学びと経験を得る機会となりました。日頃より議会に対してのご理解、ご協力に感謝いたします。

私は持続可能な観光、人材不足、施設の老朽化、移住、定住など住む人、訪れる人の双方にとって魅力のある村づくりにするため村民の皆さまの声を大切に尽力してまいります。

太田 学



誰もが白馬村に暮らし続けたいと思える地域を目指し、安心感のある暮らしを支える施策に取り組みます。地域の声に丁寧に耳を傾け、実現可能な道を模索しながら、議会では行政と真摯に向き合い、互譲の精神を大切に建設的な議論を重ねていきます。あわせて、森林という貴重な資源を守り活かすため、林業の担い手確保や木材の地産地消、計画的な森林整備を進め、持続可能な林業を次世代へとつなげていきたいと考えています。

鈴木 均



「住んでよし 訪れてよしの白馬村、住み続けたい白馬村」をめざします

インバウンドと外国資本などによる大型開発で、白馬村は、いま大きな曲がり角にたっています。村会議員として、

- ① 開発基準の見直しと規制強化
 - ② 学校給食の無料化
 - ③ デマンドタクシーの改善と子ども、障がい者、高齢者、免許返納者の運賃半額化
 - ④ 大町病院への交通手段の確保
 - ⑤ 図書館の早期建設
 - ⑥ 若者への住宅支援 など
- 希望が持てる村づくりに全力を挙げます。

松本 喜美人



1. 戦争や内乱による世界情勢の混乱と、アメリカの関税問題に端を発した世界経済や、景気後退を余儀なくされる国内経済動向を注視し、「適時・適切な政策提言と成果を厳しくチェック」を基本姿勢といたします。
2. 今回の村議会議員選挙では、白馬村有史以来の「再選挙」は免れたが定数割れとなり、地方行政の根幹をなす「二元代表制」の崩壊危機に直面しており、これらを鑑み、議員定数・報酬等を含む議会改革に取り組みます。

議会運営委員会とは

議会の運営に関する事項や議会に関する条例・規則等を審議します。委員構成は、副議長・各常任委員長及び常任委員会から各1名選出します。

メンバー(5名)

伊藤まゆみ(長)、太田 学(副)、丸山宏充、切久保達也、丸山和之

新しい交付金の決定により 子育て支援ルームの解体に着手

主な議案の審査内容

物品の取得

議案第39号

議案の概要

白馬村消防団南部分団のポンプ車を購入するもの。購入から20年余り経過していることから更新する。取得金額は2,805万円。

〔質疑・意見〕

Q 今回購入するポンプ車を使ってポンプ操法の練習ができるのか。

A 今回ポンプに不具合が見つかったため更新する。ポンプ操法の練習としても使える。

白馬村税条例の一部を改正する条例

議案第40号

議案の概要

国の地方税法等の改正により、公示送達や個人村民税の所得控除、村たばこ税のそれぞれ条例の一部を改正するもの。

〔質疑・意見〕

Q 個人村民税は減収になるが、総額としては増収になるといふことか。

A 個人村民税関係では控除が増えるため減収になるが、村たばこ税関係は加熱式たばこの税額が上がるため、増収になる。

令和7年度白馬村一般会計 補正予算(第1号)所管事項

議案第43号

議案の概要

歳入歳出それぞれ1億9,983万4千円を追加し、歳入歳出予算を72億8,983万4千円とするもの。

〔総務課関係〕

財産管理事業、10万2千円の増額は、庁舎西側、職員通用口の屋根が雪害により破損したための修繕費。財源は損害保険料が10割充当される。

債務負担行為補正1億5,039万1千円は、令和7年度官民協働による公共施設、太陽光発電設備の借り上げ事業で、ふれあいセンターおよび中学校への太陽光発電施設の設置に係るリース料によるもの。

〔税務課関係〕

税務総務費196万2千円の増額は、定額減税調整給付を行うために要する電算システムの改修費用が主なもの。

〔教育課関係〕

北小学校漏水箇所特定のための調査費用と、県との共同調達による小中学校のタブレット購入の減額を相殺。学校管理費347万9千円の増額は、小学校の水道料金が当初の想定を大きく上回ったことによるもので、9月分までを補正するもの。

Q タブレットについて、県と共同で一括調達することで購入費が下がったと捉えて良いのか。
A その通りである。

〔子育て支援課関係〕

子育て支援施設建設事業9,567万4千円増額の主なものは、支援ルーム解体費用の「新しい地方経済・生活環境創生交付金」の交付決定による9,000万円余の増額と、支援ルームの一時移転の修繕費や工事請負費によるもの。

Q アスベストの調査は未実施になっているが、調査費は計上しているのか。

A 調査費については、今年度当初予算の実設計の中で調査を依頼。アスベスト処理費が9,000万円の中で対応できるようであれば一緒に発注するが、不足の場合は、補正をお願いする可能性がある。



長い間活躍した南部分団の消防ポンプ車
お疲れ様、ありがとうございます

大雪・大風による被害多数 地球温暖化の影響か

議案第41号

白馬村執行機関の附属機関の設置等に関する条例の一部を改正する条例

議案の概要

白馬村執行機関の附属機関の設置等に関する条例の別表に白馬村観光地経営会議を加えるもの。

〔質疑・意見〕

Q 開発審議会や様々な検討委員会があるが、それとは並列ではないというところか。

A 基本的に条例の別表に載せていく考え。今回は、附属機関の条例改正であり、観光地経営会議を1項目加える法規上の手続きをとっている。

議案第42号

白馬村山小屋条例の一部を改正する条例

議案の概要

白馬村山小屋条例の宿泊料金の一部を変更するもの。

〔質疑・意見〕

Q 上限ということであるが、実際金額はどうなのか。

A 今回の条例改正は、上限額を定めたもので、この範囲内で料金改定を行なっていく。

〔討論〕

〔賛成〕 厳しい状況は理解できるが、登山者の負担が大きくなるため、素泊まり1万5千円への引き上げには反対。

〔賛成〕 諸物価、へり輸送料金の高騰もある中、上限枠を決めるもので、改正を行なっても問題ないと解釈し、賛成。

議案第43号

令和7年度白馬村一般会計補正予算(第1号)所管事項

概要は総務社会委員会議案第43号と同じ

〔農政課関係〕

4月の大風による神城の農業体験実習館のテニスコート修繕費に56万2千円の増額。

〔建設課関係〕

機種変更が必要になり、予算が不足したため除雪機械購入費783万円の増額。

〔上下水道課関係〕

黒豆沢の災害に伴う浄化槽等災害復旧事業の補助金に102万円の増額。

〔観光課関係〕

猿倉山荘の雪害による工事請負費2,915万円の増額。宿泊税導入に係る宿泊事業者DX補助金に6,000万円の増額。

〔質疑・意見〕

Q 宿泊事業者というのは、国籍等関係なく経営者であればだれでも適用されるのか。

A 特別徴収義務者として登録するのであれば適用される。

Q

単独で宿泊税を導入する自治体については、県の補助が対象外になるとの報道があった。しかし、新規導入については県に補助を依頼してほしいとの説明があったがどうということなのか。

A

新規導入する場合は県へ補助を依頼することになるが、ソフト面のシステム改修に関しては、白馬村のように独自課税団体である場合、それぞれの自治体で対応することになっている。



今年の大雪による猿倉山荘の雪害

詳細はHPに掲載の各委員長報告をお読み下さい。

※各委員長報告は、正式に公開される「会議録」と違い、審議内容(発言)を要約し、まとめて本会議場で発表する原稿として編集されたものです。



← 審査結果の一覧は、8ページをご覧ください。

第3回臨時会 議決結果 (5月9日)

番号	件名	総務社会 委員会	産業経済 委員会	議決結果
同意第3号	白馬村監査委員の選任について	委員会付託なし		同意
議案第37号	物品の取得について			可決
議案第38号	物品の取得について			可決

第2回定例会 議決結果

番号	件名	総務社会 委員会	産業経済 委員会	議決結果
報告第2号	令和6年度白馬村一般会計繰越明許費繰越計算書について	委員会付託なし		—
報告第3号	白馬村下水道事業会計予算繰越報告について			—
承認第1号	白馬村税条例の一部を改正する条例の専決処分報告について			承認
承認第2号	白馬村都市計画税条例の一部を改正する条例の専決処分報告について			承認
承認第3号	白馬村国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分報告について			承認
承認第4号	令和6年度白馬村一般会計補正予算(第11号)の専決処分報告について			承認
承認第5号	白馬村国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第5号)の専決処分報告について			承認
承認第6号	白馬村後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)の専決処分報告について			承認
承認第7号	白馬村水道事業会計補正予算(第5号)の専決処分報告について			承認
承認第8号	白馬村下水道事業会計補正予算(第6号)の専決処分報告について			承認
議案第39号	物品の取得について	○	—	可決
議案第40号	白馬村税条例の一部を改正する条例について	○	—	可決
議案第41号	白馬村執行機関の附属機関の設置等に関する条例の一部を改正する条例について	—	○	可決
議案第42号	白馬村山小屋条例の一部を改正する条例について	—	○	可決 反対：鈴木
議案第43号	令和7年度白馬村一般会計補正予算(第1号)	○	○	可決
議案第44号	工事請負契約の締結について	委員会付託なし		可決
議案第45号	物品の取得について			可決

※陳情及び請願はなし

一般質問

村政を問う

安全で活力ある
村づくりをめざして

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究、住民の声や自身の考え方をもとに、村長や教育長などの方針を問うものです。

白馬村は1問1答方式で、1人60分の制限時間内であれば、質問回数に制限はありません。

議会だよりでは、紙面の都合上、質問者が要約して掲載しています。本会議はユーテレ白馬でご覧いただけます。

質問者一覧

新子育て支援施設の役割は

丸山 和之 10

理念条例としての意義と再提案の可能性は

切久保 達也 11

ふれA1号の半額設定と大町病院への接続を

鈴木 均 12

金に頼らず知恵を出すべきでは

伊藤 まゆみ 13

社会資本整備更新に係る専門的人材の採用は

酒井 洋 14

フォトニュース



平成6年から続く、富山県朝日町議会との連絡協議会が5月22日に開催され、岩岳マウンテンリゾートを視察しました。

問 新子育て支援施設の役割は

答 多機能型の地域拠点と交流と支え合いの拠点



丸山 和之

【子育て支援施設と塩の道の拡幅】

問 新しい子育て支援施設のテーマと役割は。

第1期白馬村こども計画の基本理念を踏まえ、様々な会議、意見交換等を総合的に捉える中で、現在は「白馬の子どもの健やかな育ち」や「子どもたちを中心とした地域の繋がり」、「白馬の未来拠点」といった考え方をベースに作業を進めています。役割としては、未就学児を中心として子育て世代の支援を基軸としつつ、小学生向けの児童クラブなど

の機能や中高生が利用できる居場所機能を備えた多機能型の地域拠点を想定しています。

問 安全、安心という観点から、地域の方々が交流し集えるような環境も必要と考えるが。

子どもや子育て世代だけでなく、地域のあらゆる世代が交わることのできる「コミュニティスペース」として、交流と支え合いの拠点の一翼を担うものになるよう担当課に指示しています。

問 新施設に相応しい環境となるよう、計画的な土地の取得をすべきと考えるがその見通しは。

子どもたちはもちろん、村民の皆さんにも気軽に集まっていただけけるような心地よい景観の緑地広

答

子どもたちはもちろん、村民の皆さんにも気軽に集まっていただけけるような心地よい景観の緑地広



場として整えていけたらと考えています。これまでも説明している通り図書館の建設予定地として可能な限り早い時期に取得すべきと考えていることから、早期の取得について各種調整を指示しています。

問 この先の施設整備事業や現在の物価、資材の高騰などを考えると、新図書館建設の見通しは難しいものになるのでは。

現時点で進めている各種事業の建設費等の財政シミュレーションの結果を踏まえ、機能や建設時

期については判断していくこととなります。

問 新施設のアクセスを考えたときに、安全や利便性の面から道路拡幅を含めた整備をどのように考えるか。

歩道整備を含めた拡幅の必要性が高い路線であると認識しています。将来的には、新子育て支援施設周辺から白馬中学校周辺までの区間も合わせて、整備計画を立てていく必要があると考えています。

問 将来的に塩の道の人々が安全に利用できる

歴史的街道として、広域的に整備する考えは。

答

歴史的な財産として大いに魅力のある路線であり、観光面でも価値のある路線と考えています。一方で画一的に整備していくことはかえってその価値を削いでしまう場所もある中で、最低限の管理を行ったうえで、現状を維持していくことも必要です。こうした里山文化や歴史的財産として価値を踏まえつつ地域資源の保全に引き続き務めます。

新子育て支援施設周辺の路線。現状では狭く、安全性や利便性を考えると整備計画は必要。



切久保 達也

問 理念条例としての意義と再提案の可能性は

答 現状課題を再検証し再提出に向け準備したい

【環境基本条例】
令和4年度の環境基本条例改正案が否決されたが。また、理念条例が無いなかで村政運営への影響は。

答 行政の思いや姿勢が足りないと感じたのではないだろうか。また、白馬村ゼロカーボンロードマップなどは、理念に沿った形で策定したことから、政策の目的を明確にするためにも必要と考えます。

問 個別計画の限界と、包括的な計画としての環境基本計画の必要性についての見解は。

答 環境基本法では努力義務となっています。しかし個別計画で理念を実現していくことは可能ですが、横断的な柱としての計画が無いことで、施策統合の必要性や計画に対する説明責任の分散など、課題が出てくる懸念があります。

問 個別計画での取り組みの進捗を判断するためには、定量的、定性的な公表が必要と感ずるが。

答 ロードマップに沿った目標の達成には、住民・事業者の協力が不可欠です。現在どの程度実現ができていますのか、公表は必要だと感じています。定量的な計測

に関しては、専門的な技術や知識が必要でコストがかかります。昨年は補助金を活用して、定量的な計測ができましたが、今後は財政的な見地で判断します。

問 新たな交流地域の選定は

オセアニア地域を検討

【姉妹・友好都市交流の実効性と今後の展開】

問 交流事業から得られた成果や効果の評価は。

答 文化や施策の学び合いが進み、訪問により有益な情報を得られ、村の施策にも活用できる貴重なつながりが築かれています。太地町の循環バスや自動運転カート、多世代交流やアレルギー対応の工夫などを視察し、参考に

なる事例を直接得られました。逆に企業版ふるさと納税に関する相談もあり、学び合える関係性を実感しました。

問 レッヒャオーバーヴィーゼンタールとの交流を、観光ブランドインフラや誘客施策にどう活かしているのか。

答 直接的な観光誘客にはつながっていませんが、デジタル技術や環境対策など、観光地経営に活かせる多くの学びがあります。住民・事業者・行政の交流を通じて、地域振興や人材育成、また国際的な相互理解と平和にも貢献するものと考えています。

問 現在の国外交流は特定の団体の経験とつながりに依存している印象がある。担当が異動しても続けられる制度的な記録管理、引継ぎ体制の整備等はできているか。

答 国外交流は、関係者の経験や人的ネットワークに支えられてきた面が大きく、尽力には感謝しています。一方で、継続的な交流のためには、属人的な依存を

避け、制度的な記録管理や引継ぎ体制の整備は不可欠です。今後は職員や関係団体とも共有できる仕組みを整備していきます。



姉妹都市提携40周年記念で「河津桜まつり行き白馬村民号」事業で河津町を訪問

問 ふれA1号の半額設定 と大町病院への接続を

答 割引料金と大町市への接続 は今後の検討



鈴木 均

【公共交通とりわけデマ
ンドタクシー】

問 全世帯へのわかりや
すいパンフレットの
配布計画は。

答 現段階で保存版とな
るパンフレットを制
作し全世帯へ配布するより
も、予約・配車システムの大
きな変更が生じた際に、各
種媒体を活用した最適な方
法で周知に努めます。今後
のパンフレット制作や全世
帯への配布を否定するもの
ではなく、冬シーズンのシス
テム解決に向けて取り組ん
でいます。その完成を目安に

判断します。

問 村は半額等の割引が
できないという法的
根拠は。小中学生・障がい者・
高齢者・免許返納者は半額に
すべきでは。

答 半額割引を含めた割
引運賃も運行主体等
の意向や事情等により設定
できますが、一昨年までのふ
れ愛号の料金を踏襲してい
ますので、料金は300円の
ままです。今後の検討課題
で需要を聞きながら考えて
いきます。

問 7時台の電車で大町
病院へ行けるように、
1台だけでも7時から16時
に運行できないか。青木湖
で大町市の「ふれあい号」と
の接続が可能だが検討した
か。小谷村のデマンドは白
馬村のスーパードまで運行し、
木祖村は隣の木曾町にある

木曾病院まで直通便を運行
しているように、村もデマン
ド実施要綱を変更して大町
病院まで直通できないか。

答 運行時間を解決する
方法があるか、引き続
き模索していきます。現在
の村のふれA1号は、隣接す
る市村との接続は想定して
いません。通院や通学、観光
の円滑な移動手段が確保さ
れることは目指すべき将来
像なので、計画の具現化に向
けて連携を図っていきます。
提案は一つのアイデアで、大
町市と話す中で選択肢とし
て検討します。

問 運行は観光課、手続き
によって健康福祉課・
社会福祉協議会、総務課に分
かれていて。窓口を一本化
できないか。

答 利用者目線を考えれ
ば、手続窓口の一本化
が理想です。組織の横串で
の連携は不可欠で、さらなる
庁内連携で住民にとっても
分かりやすく効率的な組織
を構築したいと考えて、来年
度に向けて機構改革に向け
た作業を進めています。

問 除雪支援事業の 拡大を

答 他の自治体のルール を使えるか検討

問 飯山市のように、
雪害に対し除雪
支援の対象を課税世帯
にも拡大できないか。

答 人的被害は3件
で、建物被害は把握
していません。特別
豪雪地帯住宅除雪支援
事業制度の申請は28件、
利用は23件で、支援者
の確保という課題も含
めながら、飯山市を参
考にして、村でどうい
う形が取れるのか検討
します。



大町市民バス「ふれあい号」の正科バス停と池田町営バスの正科北バス停は隣接しています

大町市から池田町のあづみ病院へ乗り継いで行ける共同のバス停留所



伊藤 まゆみ

問 金に頼らず知恵を出すべきでは

答 その知恵を生かす財源があること

【持続可能】
村長はよく「持続可能」という言葉を挨拶等に盛り込むが、村長が描く持続可能なビジョンとは。

問 地域社会が経済的・社会的・環境的側面から持続可能な発展を続けている状態で、村のビジョンもそれらの側面において持続性ある状態、住民が安心して暮らしていける地域であることですか。

答 現在、住民は安心して生きていると思うか。

問 気候変動で災害の発生があり、また土地の売買等で外資等が入ってきています。ここに暮らし続けられるかという点では、安心感がない部分があると思います。

問 令和3年3月、コロナ禍の一般質問で、「東証株価は3万円を上回り、2016年の世界GDPは76兆ドルに対し個人資産は280兆ドルと実態経済の4倍近く。この膨れ上がった金融資産はインフレを好まず、インフレ前に不動産、特に土地など実態のあるものに換物され、この村にもその波が来るのでは」と自分は予測していた。4年後の今、そ

答 持続可能社会の解決すべき課題である少子高齢化において、移住定住施策や住民主体のまちづくりが重要です。住民が豊かに暮らし続けるための社会基盤の整備や福祉施策の充実のために、交付税の算出に影響しない財源が必要です。企業版ふるさと納税がその大きな財源の一つで、そこに専門人材を配置すべきと考えました。

問 うなっていないか。そういった波がきていると感じています。

問 政策アドバイザーでもいいのでは

答 対住民にも力を発揮するとの期待

【副村長人事】

問 副村長を2名体制にすべくこの2月に公募した。2名必要との判断の経緯は。

答 持続可能社会の解決すべき課題である少子高齢化において、移住定住施策や住民主体のまちづくりが重要です。住民が豊かに暮らし続けるための社会基盤の整備や福祉施策の充実のために、交付税の算出に影響しない財源が必要です。企業版ふるさと納税がその大きな財源の一つで、そこに専門人材を配置すべきと考えました。

問 現在、庁内に精通している副村長がおり、対外的な活動をされている村長自身は何をするのか。

答 当然そこにも取り組んでいます。より多くの財源を獲得したいとの思いがあります。

問 当村には「政策アドバイザー設置要綱」というものがある。その役職の設置に変更したらどうか。

答 副村長という立場が、対住民向けにも力を発揮してくれると期待しています。

問 なぜ地方は補助金をもらっても衰退するのかとの問い掛けに、お金がないのではなく、知恵がない。人材育成を怠ってはいけないと木下斉氏が言っている。全くその通りだ。職員に知恵を出してもらおうべきと考えるが。

答 一番いいのは知恵もあり、その知恵を生かす財源があることです。

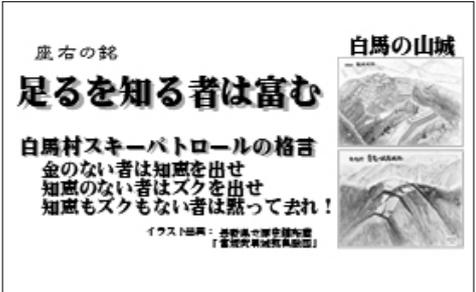
問 自営業の減少が原因と思われるが

答 やりがいなどの理解不足等と考える

【議員の成り手不足】

問 今回の議員選挙は定員不足になった。これは全国的な問題。当村の定数が16であった頃と違うのは自営業の減少と考えるが。

答 成り手不足の要因として、議会の役割と議員のやりがい、住民に理解されにくい、地域における担い手の不足と女性進出の遅れ、落選時のリスクや選挙資源の格差などの障壁、と考えます。



私の名刺の裏に書いてある座右の銘です

問 社会資本整備更新に係る専門的人材の採用は

答 技術職の定期的な採用を考えている



酒井 洋

【持続可能な社会基盤の維持管理・更新】

問 専門的な技術や知識を持つ人材の採用は。

建設や農政、上下水道など、現場を抱える部署にとっては専門的な技術や知識を持った職員の確保は非常に重要な課題であると認識しています。一方で、これら技術系の人材は官民の間でも取り合いとなつている面もあり、なかなか一朝一夕に課題解決とはならない状況です。

そのため、建設課においては、リタイア組や県外において

かりと若手職員に継承していくことが重要であると思えます。

問 大雨・大雪、水道漏水に対処している職員の労働環境の改善は。

答

今年は大雪に伴い、昼夜を問わず職員が現場の緊急対応に追われたため、大きな負担をかけることになりました。個々の意見を聞きながら改善策を検討していきます。水道漏水事故等には、広域化や官民連携手法を取り入れることで、適切な維持管理体制の構築が必要と考えています。

問 社会基盤整備の維持管理費縮減に関わる住民参加の方策は。

答

高齢化で地域の担い手が確保が難しい行政区域が増えています。行政と地域で担っていた部分の整理および研究し、経費の縮減に努めます。

問 資金調達の考え方と財政計画は。

答

村税収入は増加傾向ですが、重要な財源で

ある普通交付税の根拠となる人口の維持に向けて、様々な施策に取り組みます。ふるさと納税も増加傾向です。これから始まる宿泊税を含んだ観光財源など、あらゆる手段で資金調達を検討していきます。

問 再生可能エネルギーやリサイクル品等の効率的利用、デジタル技術の活用は。

答

建設課ではGPSを活用した除雪委託業務を導入、ICTの活用による道路維持管理の省力化について研究しています。農政課では、ほ場整備に伴い自動給水栓を設置し、湛水管理の省力化を図る計画です。また、有害鳥獣対策における動物位置情報システムやカメラの設置についても予算化しています。上下水道課では、下水道汚泥の肥料化や焼却灰のセメント原料化を行なつていて、今後の施設更新時には再生可能エネルギーの積極的導入を考えています。



中央監視室からリアルタイムで確認中



定期点検で橋の安全を守る

退職議員に感謝状が贈呈されました

任期満了により令和7年5月4日をもって議員を退職された8名の皆様に、令和7年5月26日、白馬村から感謝状が贈呈されました。

長年にわたり白馬村の発展のため尽力されましたことに、厚く御礼申し上げます。



国会議員に要請活動を行いました

令和7年5月27日に東京で開催された、町村議会議長・副議長研修会に、太田議長と丸山副議長が参加しました。また、あわせて地元地区の衆議院議員事務所を訪問し、土砂災害が発生している県道白馬岳線及び猿倉山荘駐車場の早期復旧について要請活動を行いました。



CO₂を資源に

大気中から回収した二酸化炭素(CO₂)を元にメタンガスをつくり、村内で消費・循環する実証実験を白馬村と名古屋大学の連携協定で実施しています。



新事務局体制

事務局長 太田俊社 書記 吉沢美穂

人事異動により、4月1日から新たな事務局体制となりました。これからよろしくお願いいたします。



スマホアプリで白馬議会だより配信中！



マチイロ

マチを好きになるアプリ



お気軽に！ご意見をお寄せください！▶ gikai@vill.hakuba.lg.jp

85-0725(直通) 72-7001(ファックス)

R6年度議長交際費HPに掲載しています



わたしのひとこと



ナリワイ

堀之内 萬代 泰和

ナリワイ
藪を刈り、木を伐る。
木を植え、藪を刈る。
森に通い、森を造るのが、私のナリワイ

神社の奥にある300歳を越えるケヤキに刃を入れるとき、ババが太平洋戦争中しがみついて伐らせなかったスギ林に出会うとき、先人たちの自然観に触れ、ふと「時を越える」感覚になる。

移り変わる森林の色味に魅せられ、その多機能性には驚かされる。

木々は動くことなく、土を抱え、風を抑え、水を整え、空気を浄化し、大地を冷やす。

コインパーキングや貸別荘より森林の方がずっと大切な価値を持っている。そう感じているのは私だけだろうか？

日々の小さな選択が「今」を創り、「これから」に関わっていけることに希望を感じている。だから今、自分がいちばん関心をもっているのは、「時を越えて、どんな森林を残していけるか」ということ。



韓国から白馬村に移住して

白馬町 ジーソルハ

2019年ワーキングホリデービザで来日し、友人の紹介で白馬村のカフェで働き始めました。日本に来た当初は冬のワンシーズンだけの予定でしたが、2020年コロナの影響によりそのまま白馬に残ることを決断。その後地元の人達との交流も多くなり、白馬高校で韓国語の講義をする経験もさせていただきました。

何年か過ごしていくうちに今の主人と出会い、結婚し、移住することになりました。まさか自分が日本に住むことになるとは思っていませんでした。現在は前職の経験を生かし、白馬駅前でお土産屋に併設しているカフェを運営しています。観光客の皆さんはもちろん、地元の方々にも居心地の良い空間を提供していきたいと思っています。のんびりしたくなったら是非お立ち寄りください。駅前でお待ちしています！



面倒くさいことをやろう！

深空 郷津 直弥

就農してから32年たった私が、近ごろ感じることは、何もかもが便利になったことです。

昭和のころは、村内のどの農家も春のイネ育苗や秋の稲刈り等、面倒なことを率先してやっていました。令和の現在は、どうでしょう。営農法人へ完全委託する農家がほとんどです。

面倒くさいことは、<おカネ>さえ払えば何でもやってもらえるし、何でも手に入ります。しかし、その<おカネ>を手に入れるために費やす時間のなんと長いこと。

行政も〇〇補助金や〇〇費無償化のために、多くの職員と多額の財源が必要な様子。2024年は国の税収が過去最高を記録したとの報道もありました。

<面倒くさいこと>×<おカネ>= <便利>。これが近代化というなら、昨今のコメ不足・物価高騰を皆さんは、どう乗り越えますか？

私は、声を大にして言います。「面倒くさいことをやろう！」と。

あとがき

新しい議会の体制になって、はじめての議会報となります。広報委員長として、この一冊を皆さんにお届けできることを、とても嬉しく思っています。

議会報は、議会の動きや議員の思いを、できる限り正直に、わかりやすく村民の皆さまにお伝えする大切な架け橋です。議会が何を考え、どこへ向かうとしていくのかを、皆さまと共有できるものにしていきたいと考えています。

まだまだ至らぬ点も多くなるかと思いますが、議会を少しでも身近に感じていただき、どうか忌憚のないご意見をお寄せいただければ幸いです。

(太田 学)

議会広報特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 太田 学 |
| 副委員長 | 永井 勝則 |
| 委員 | 丸山 宏充 |
| 〃 | 鈴木 均 |
| 〃 | 酒井 洋 |
| 〃 | 内川 史朗 |
| 〃 | 丸山 和之 |
| 議長 | 太田 伸子 |

